

令和6年度湘南大庭地区郷土づくり推進会議
＜全体会議（第10回定例会）議事録＞

日 時：2024年（令和6年）8月20日（火）19：00～20：45

場 所：湘南大庭市民センター 2階 第1談話室

出席者：10名

欠席者：4名（菅野委員、吉田委員、石塚委員、黒澤委員）

（協力員）0名

（事務局）湘南大庭市民センター 大塚センター長、入澤主幹、杉浦

1 前回の確認

令和6年度第9回定例会議事録（案）＜資料1＞

特に修正等なし。

2 各部会からの報告事項

（1）かるた部会から＜資料2＞

学校を通して生徒に依頼している読み札と取り札の回収について、9月6日に小学校を廻る予定であり、9月に入り早々に中学校と回収日を調整する予定。

かるた応募数が少なかった場合について、セカンドライフ部会が実施する俳句講座に部会長が出席した際に、俳句講座出席者へ協力を要請した。

小中学校から回収したかるたの選定については、大庭城跡の友の会メンバー川地氏に協力を要請した。

9月上旬（9日の週）に臨時部会を開催し、選定作業を行う予定。

個人情報保護の観点から、氏名を伏せてOneDriveに挙げるか、本人からの同意を得られていない場合にのみ氏名を伏せてOneDriveに挙げるか、今後検討。

かるたの選定に偏りが生じないように、配慮が必要。

（2）距離表示部会から＜資料3＞

ふるさとまつり当日は、駐車場側にテントを設営し、受付台を設置の予定。

スタッフは、10時頃から13時30分頃までの従事を依頼したい。

資料3は、表面に質問と回答を収め、裏面には地図を印刷した用紙を使用することを想定。

小糸神明社には、8月18日に部会長が挨拶済み。

大庭城址公園指定管理者（藤沢市まちづくり協会）へ事務局から連絡し、簡

単に事情を説明するとともに、後日、部会長と挨拶に伺うこととなった。

「郷土づくり推進会議」のぼり旗を2本購入したい。

のぼり旗は小糸神明社と大庭城址公園に2本設置。

のぼり旗は2本ではなく、もう少し多く作製したらよい。

どのような、のぼり旗を作製するか、案を会議内で回覧した。

のぼり旗のイメージを伝え、業者に試案を求めるやり方もある。

議長から、受付の仕方には問題ないが、センター内で郷土づくり推進会議の活動を知ってもらうために行う展示物の前で受付し、展示物を観てもらおうようにしたらよいのではないか。

参加者の身の安全を担保するため、横断歩道には人を立て、地図には人員配置場所を落としたらよいと思う。

実施日は10月26日（土）の1日を想定しており、翌日27日（日）を予備日としたい。

（3）デジタル推進部会から

前回、事前に2名欠席の連絡が入ったため、キャンセル待ちの方から2名参加してもらった。

明日21日（水）に、第4回目の講座が開催。

部会長が市民の家にカラー版のチラシを掲示してきた。

11月2日（土）か12月8日（日）のどちらかの午前中に開催予定のSFC中澤先生による講演会について、「追加資料」を基に説明。

（4）大庭城跡部会から〈資料4〉

2024年1月に実施したシンポジウムに関して、アンケートの結果を振り返ると面白い。

アンケートには、パネリストが多すぎる、ディスカッションが目的なのに各人のコメントが長すぎる等の意見が見られた。

活性化協議会から湘南ライフタウン活性化指針（案）の意見を求めたら、60名を超える方から意見が出された。

子どもが140名意見を出してくれた。

62名中44名がワークショップに参加したい。

次回のシンポジウムには、前回のアンケート等から反省を生かしたい。

シンポジウムの講師には、数名候補者（駿河台大学の先生等）がいるが、適した方に講師を依頼したい。

8月18日（日）に実施したフィールドワークの中で、高度1.5mで実際

にドローンを飛ばし動画を作成してみた。所々、木の枝が長く茂っており、ドローンに当たってしまい、スムーズに飛ばせないため、撮影の時には剪定が必要だと思う。

10月頃、紅葉の中で撮影すれば、画として映えるため、紅葉の時期の撮影を検討したい。

市への提言（要望）の内容を早急に固めていきたい。

(5) セカンドライフ部会から〈資料5・6〉

9月1日（日）の講座「線香花火を自作しよう」は参加費用と材料費用を実費として徴収、収支0となるように調整する。

第1回及び第2回俳句講座の終了時にアンケートの記入を求めており、その結果を集計し、要望の多かったものを後期の講座にしたい。

後期の第1講座「ボードゲームを楽しもう」は、日程が「ふるさとまつり」の当日と重なっており、日程の変更を部会長に依頼。

→部会で検討し、後日、事務局と日程調整。

日程を早める場合には、「広報ふじさわ」の掲載時期の調整が必要。

広報担当課への持込期限もあるため、早めに事務局まで連絡を依頼。

(6) 子ども居場所づくり部会から

8月16日に「川ガキになろう」7家族中5家族が参加。

実習室で実施。先生を務めた鈴木氏が100匹近く親水公園で捕獲し、メダカやザリガニなどを観察。さらに、珍しい魚として、川アナゴを観察。

主に、鈴木氏が魚の解説しながら、延べ2時間ほど行った。

後半では、実習室の中央付近で子どもたちは魚すくいを体験し、金魚と違い野生の魚を捕るのが難しいことを体験。

翌日、参加した家族から写真付きで感謝のメールをもらった。

部会の中で話題になったのは、鈴木氏への謝礼の件。感謝状も出ていないので、感謝状を出すことはできないか。

市長や郷土づくり推進会議議長、市民センター長の名で感謝状を出すか。

ただし、郷土づくり推進会議議長や、市民センター長の名で感謝状を出す場合、公印がないので、検討が必要。

今後、感謝状を出す基準を検討した方がよいと思う。

(7) ゴルフ部会から

今年度2回目のコンペ開催を検討したい。

3 協議事項

- 定例会の開催日の変更について

9月から11月までの期間は、同月2回目を木曜日に変更する案を提示、実施する方向で決定した。

4 その他

- ガイドクラブ

大庭城跡の後期イベントとして、ガイドツアーを行うのであれば、10月頃にチラシを作成、回覧したい。

資料代として実費を徴収し、ガイドを実施。

公民館事業の予算との調整が必要。

以 上